Enterprise Premium 電子証明書発行サービス

電子証明書インストール手順書

[Enterprise Premium CA - G3／ダウンロード]

Ver2.3

三菱電機デジタルイノベーション株式会社

目次

改定履歴

改定日	版	内容	作成者
2016.10.21	1.0	初版	ジャパンネット株式会社
2018.07.02	2.0	合併に伴う社名変更 サポート環境から Windows Vista を削除	三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社
2022.05.30	2.1	MicrosoftEdge 対応	三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社
2024.11.11	2.2	Windows11 対応	三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社
2025.04.01	2.3	新会社設立に伴う社名変更	三菱電機デジタルイノベーション株式会社

1. はじめに

本手順書は、Enterprise Premium 電子証明書発行サービス（以下、当サービス）の電子証明書を証明書配付システムから取得し、インポートする手順書となります。電子証明書のお申し込み時の格納媒体にダウンロードをご選択された電子証明書が対象です。

本手順書に掲載している画像は OS：Windows 11、ブラウザ：Microsoft Edge のものです。お客様がご利用になる OS やブラウザにより画像が一部異なる場合がありますが、適宜読み替えていただきますよう、よろしくお願い致します。

1.1. ご利用条件

当サービスでサポートする OS 及びブラウザは以下の通りです。

サポート環境

サポート OS	サポートブラウザ
・Microsoft Windows 10	・Microsoft Edge、Google Chrome
・Microsoft Windows 11	・Microsoft Edge、Google Chrome

※ サポート OS 及びサポートブラウザは全て日本語版に限ります。

※ ブラウザは JavaScript が有効である必要があります。

※ 2016 年 1 月 12 日より Microsoft 社のサポートブラウザが各 OS 最新のバージョンのみとなっています。弊社サポート OS およびサポートブラウザは Microsoft 社のサポート方針に準じます。

1.2. 証明書配付システムの停止時間

証明書配付システムは、下記の時間帯で計画停止致します。定期メンテナンスの日時は、お客様企業のシステム管理者の方にお問合せください。）

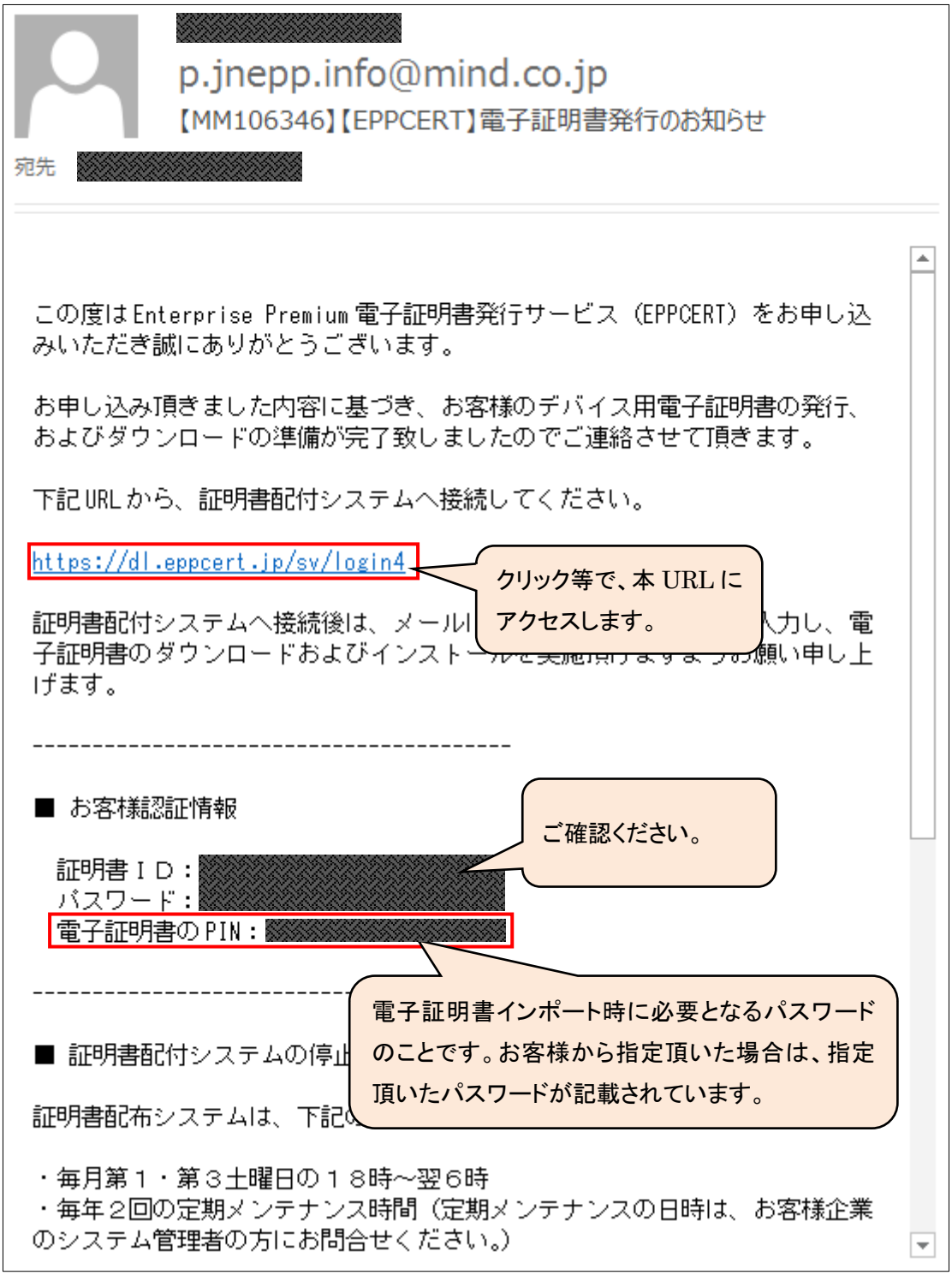
- 毎月第1・第3土曜日の18時～翌6時
- 毎年2回の定期メンテナンス時間

緊急メンテナンス等で上記時間帯以外でもシステムを停止させていただく場合がございます。システムの停止中は電子証明書の取得ができませんので、予めご了承ください。

2. 実施手順

2.1. 電子証明書の取得手順

(1) 弊社から下記内容のメールがお客様のメールアドレスに届きます。
証明書 ID、パスワードを確認し、メールに記載されている URL にアクセスします。



※ 上記画面はメーラに「Outlook」を用いている場合の例です。

※ 上記メールはサンプルとなります。お客様によってはメール内容が異なる場合がございます。

※ 上記メール内の「電子証明書 PIN」はお客様によっては「クライアント証明書 PIN(パスワード)」と記載されている場合がございます。

(2)　(1)のメールに記載されている URL へアクセスもしくは、Microsoft Edge を開き、証明書配付 システム「https://dl.eppcert.jp/sv/login4」にアクセスします。

(3) 「電子証明書の取得」ボタンをクリックします。

証明書配付システムトップページ

(4) 通知された「証明書 ID」、「パスワード」を入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。

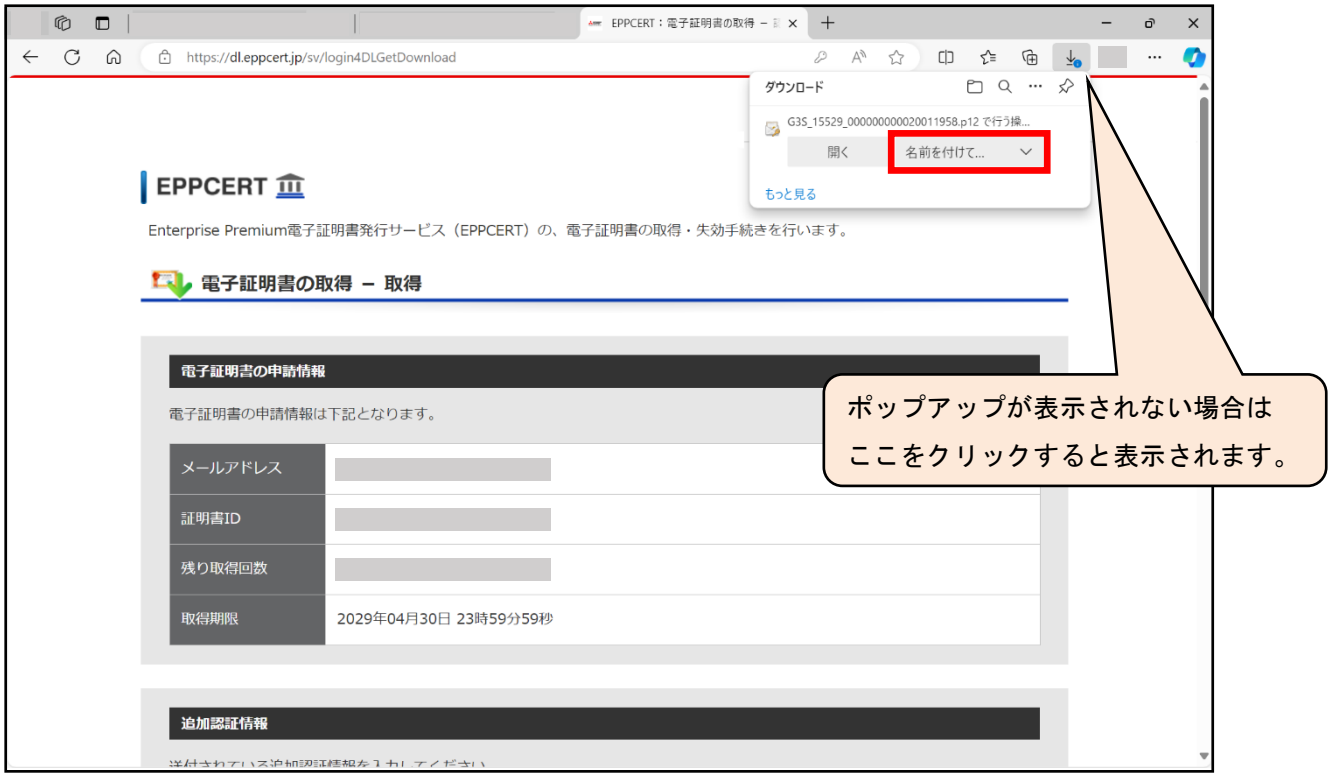
証明書 ID/パスワード認証ページ

※ パスワード誤りで一定回数ログインに失敗すると、ID がロックされログインできなくなる場合があります。ロックを解除するには、お客様企業のシステム管理者の方にその旨をお伝えください。

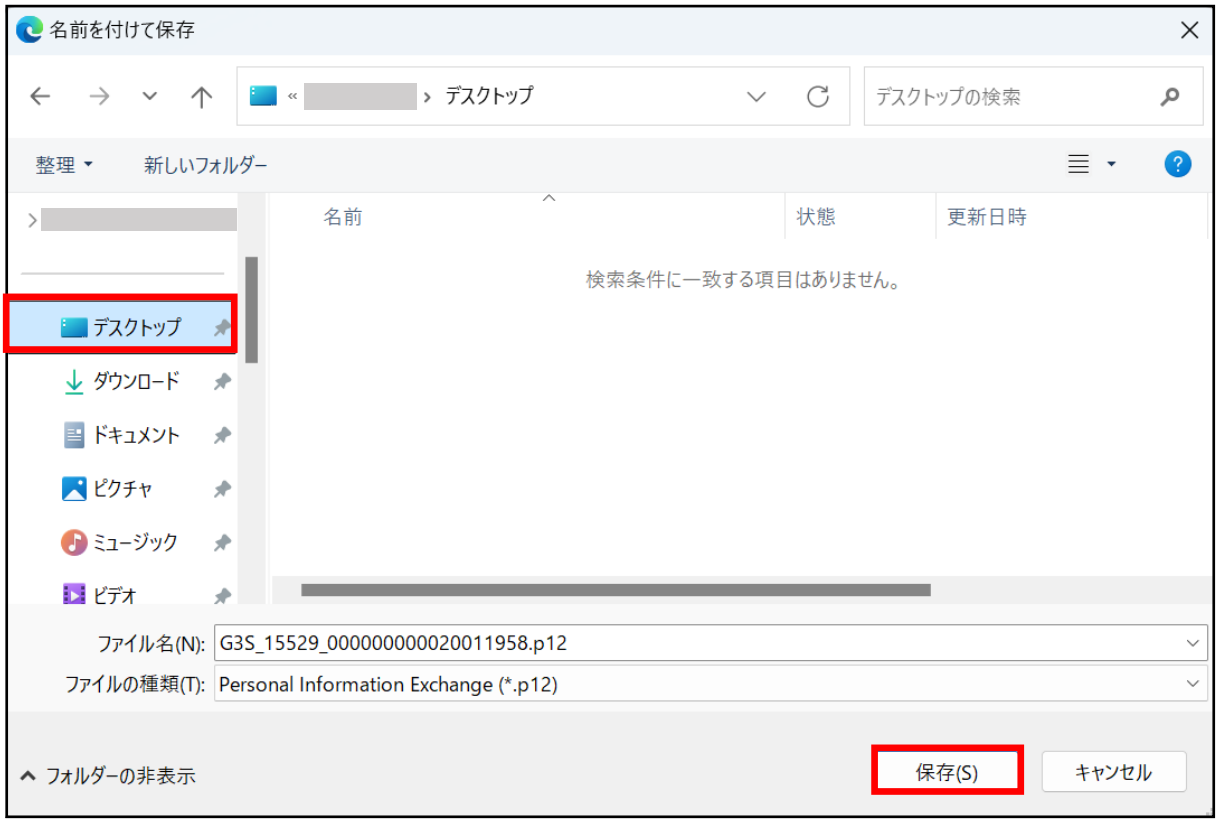
(5) 電子証明書の情報を確認し、追加認証項目を入力した後、「電子証明書の取得」ボタンをクリックします。

電子証明書取得ページ

(6) 画面に保存確認のポップアップが表示されるため、「名前を付けて保存」をクリックします。



(7) 保存先を確認(画像の例ではデスクトップ)してから「保存」ボタンをクリックして、証明書ファイルを任意のフォルダに保存します。

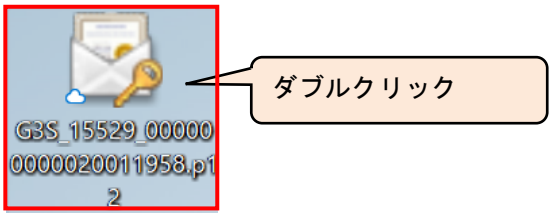


※ セキュリティの観点から証明書ファイルは速やかにインストールし、バックアップをメディアなどに保存することをお勧めします。

2.2. Windows 証明書ストアへの電子証明書インポート手順

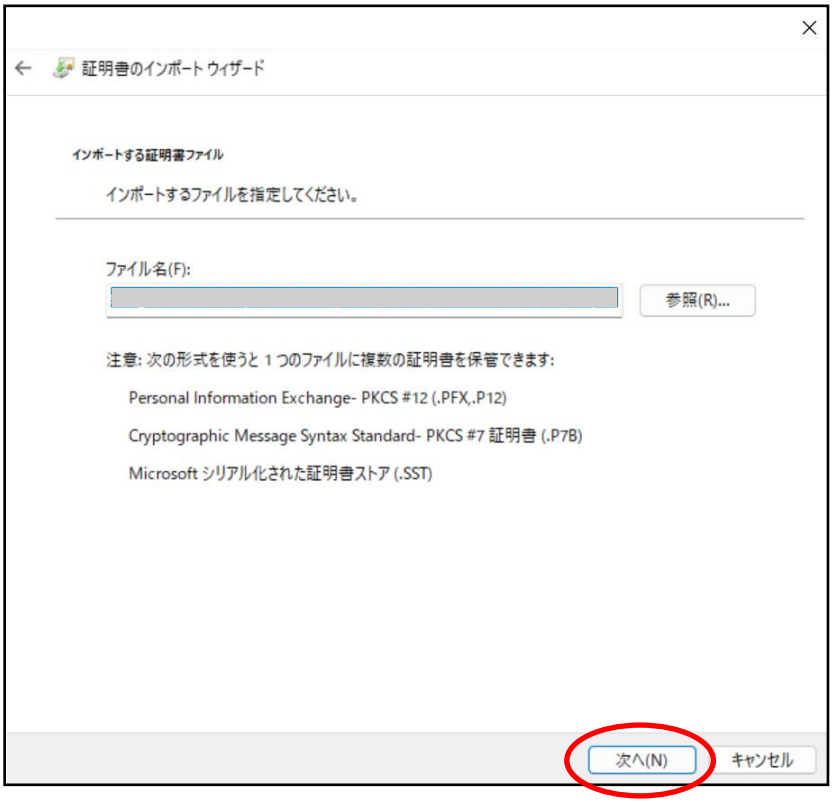
※　Windows 証明書ストア以外へのインポート手順はお客様企業のシステム管理者の方等にご確認ください。

(1) 「2.1. 電子証明書の取得手順」で保存した証明書ファイルをダブルクリックします。

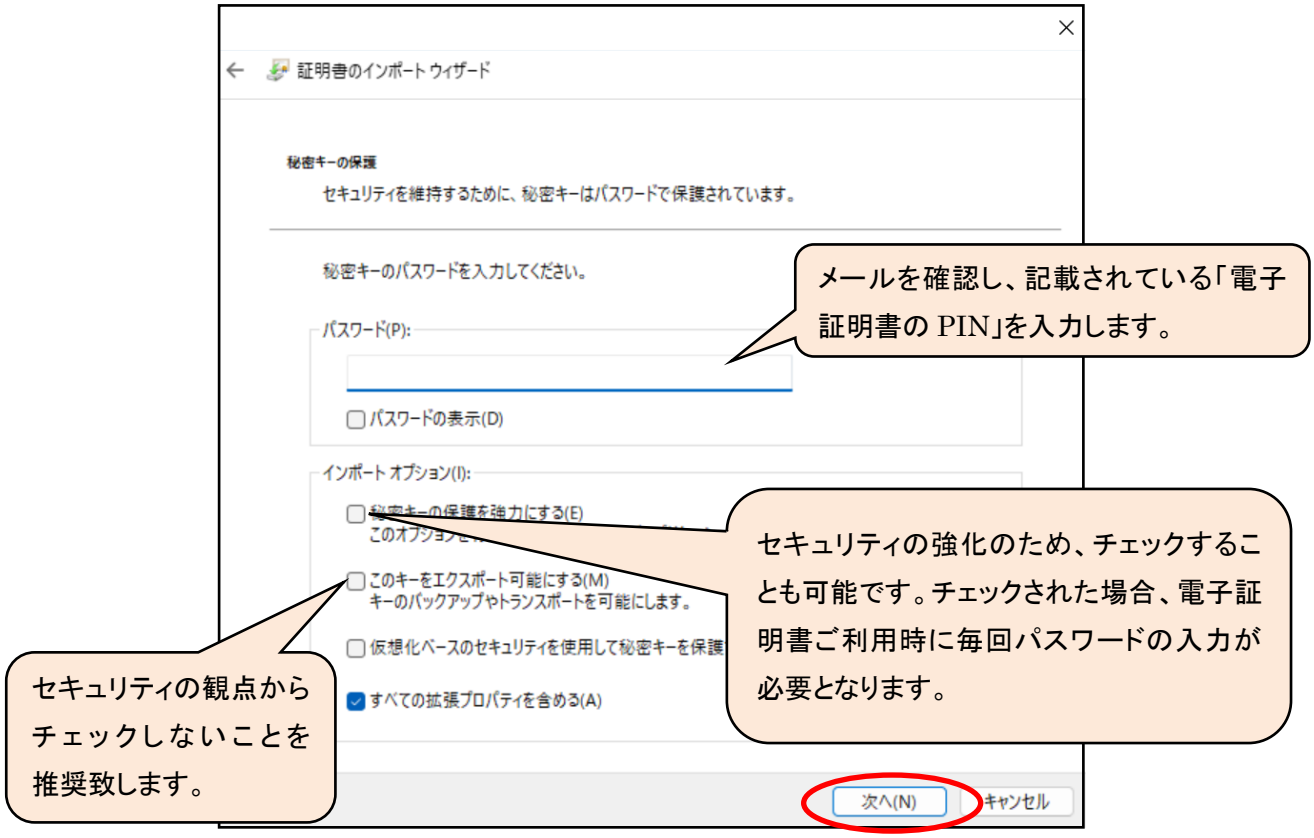


(2) 「証明書のインポート ウィザードの開始」画面が開くので、「次へ(N)>」をクリックします。

(3) 「次へ(N)>」をクリックします。

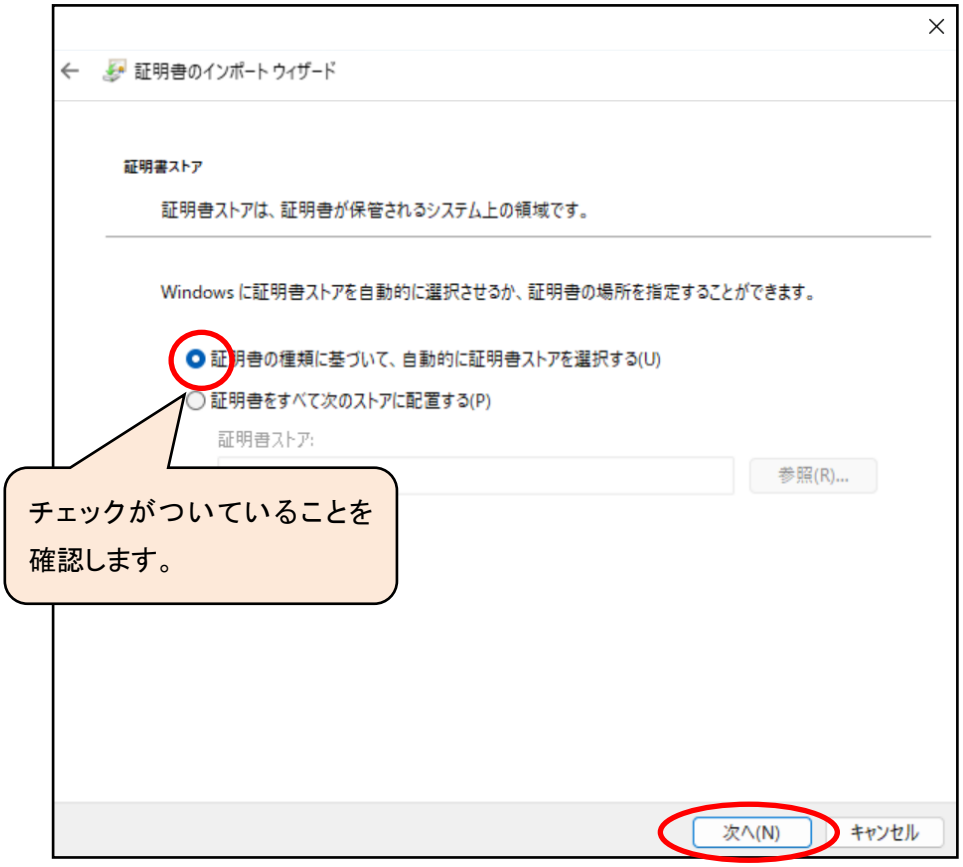


(4) 「パスワード」欄に、メールに記載されている「電子証明書の PIN」を入力し、「次へ(N)>」をクリックします。

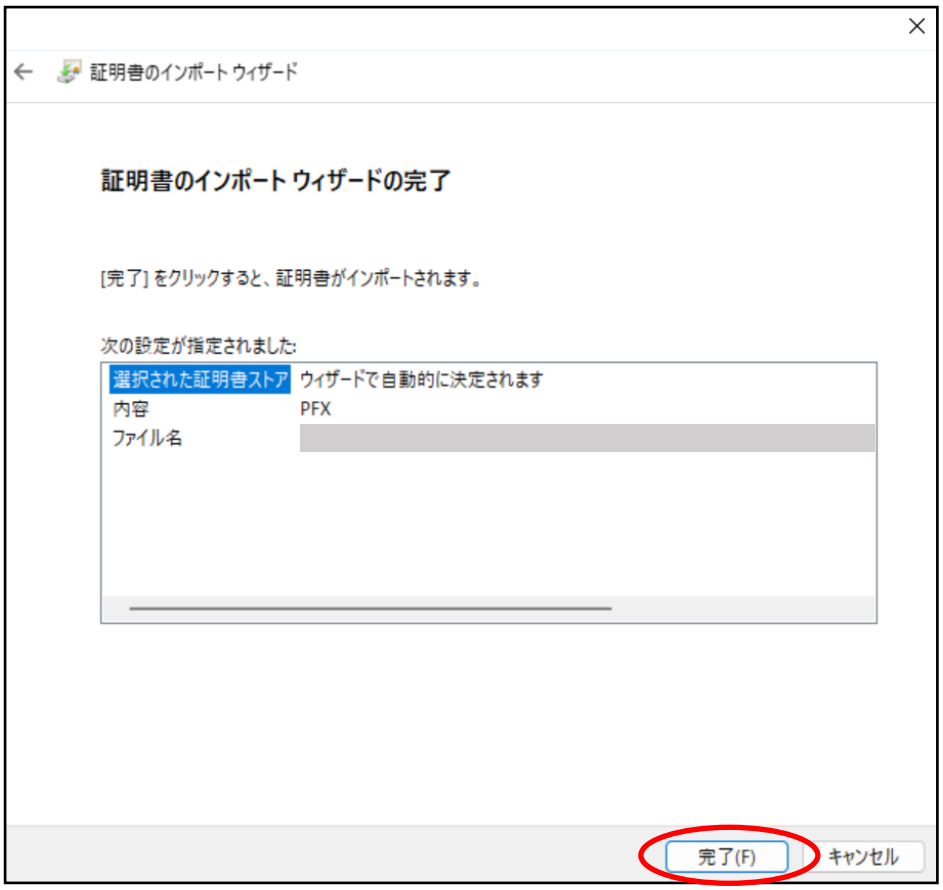


※ メールに記載されている「電子証明書の PIN」はお客様によっては「クライアント証明書 PIN (パスワード)」と記載されている場合があります。

(5) 「証明書の種類に基づいて･･･選択する(U)」にチェックがついていることを確認し、「次へ(N)>」をクリックします。

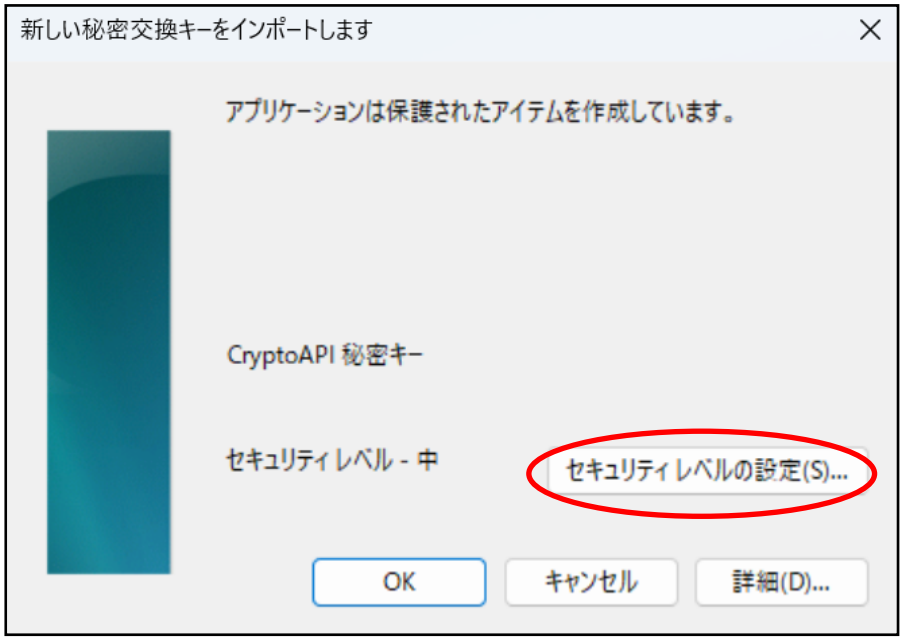


(6) 「完了」をクリックします。

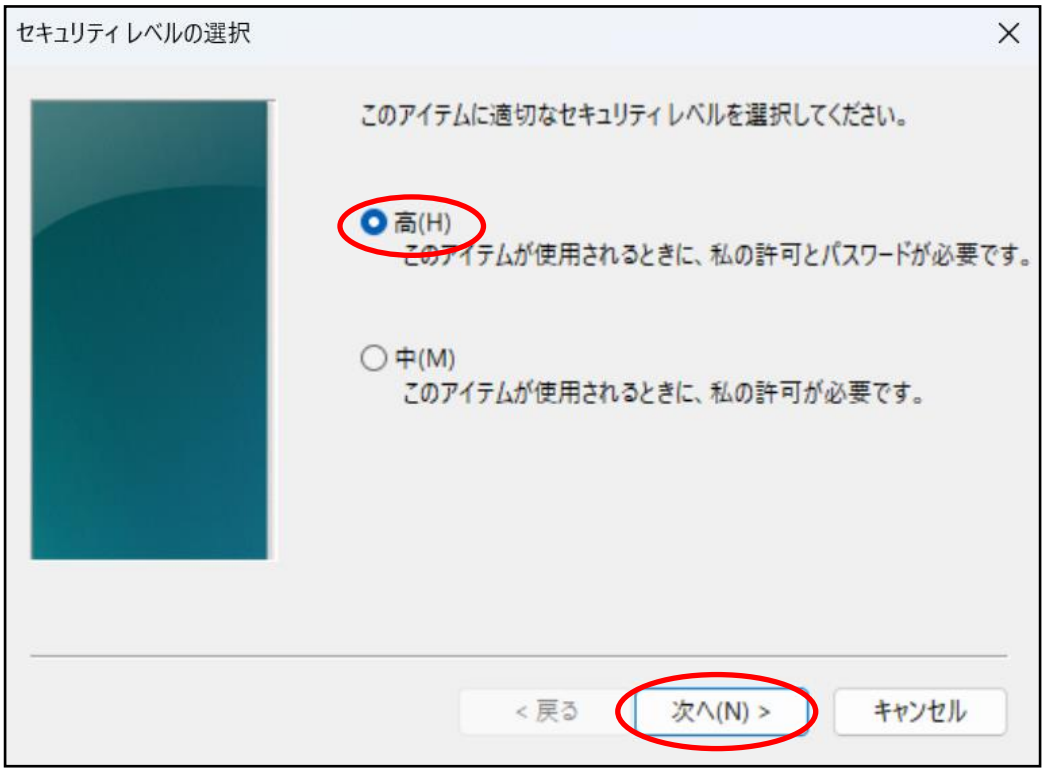


※　2-2(4)で「秘密キーの保護を強力にする」をチェックした場合、下記手順が追加されます。チェックされていない場合は(補足 1)～(補足 4)の手順は不要です。

(補足 1)「セキュリティレベルの設定(S)」をクリックします。



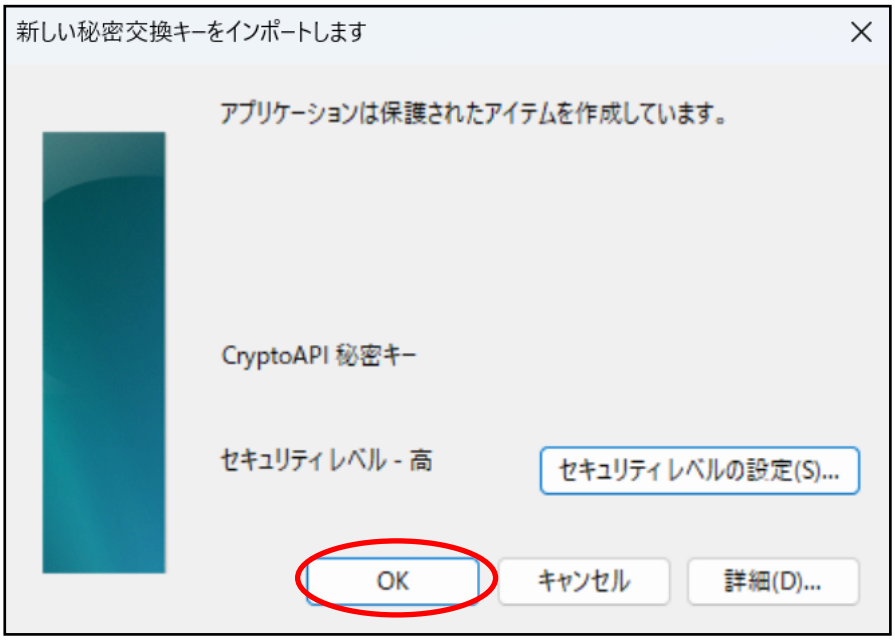
(補足 2)セキュリティレベル「高(H)」をチェックし、「次へ(N)>」をクリックします。



（補足 3）「パスワード」欄に、パスワードを入力し、「完了(F)」をクリックします。

※　下記パスワードは電子証明書ご利用時に毎回確認されるパスワードになります。お客様のパスワードポリシーに従いパスワードを設定ください。

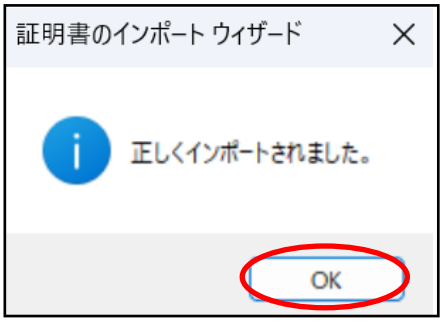
（補足 4）「OK」をクリックします。



(7) 下図のような「セキュリティ警告」画面が表示されるので、「はい(Y)」をクリックします。

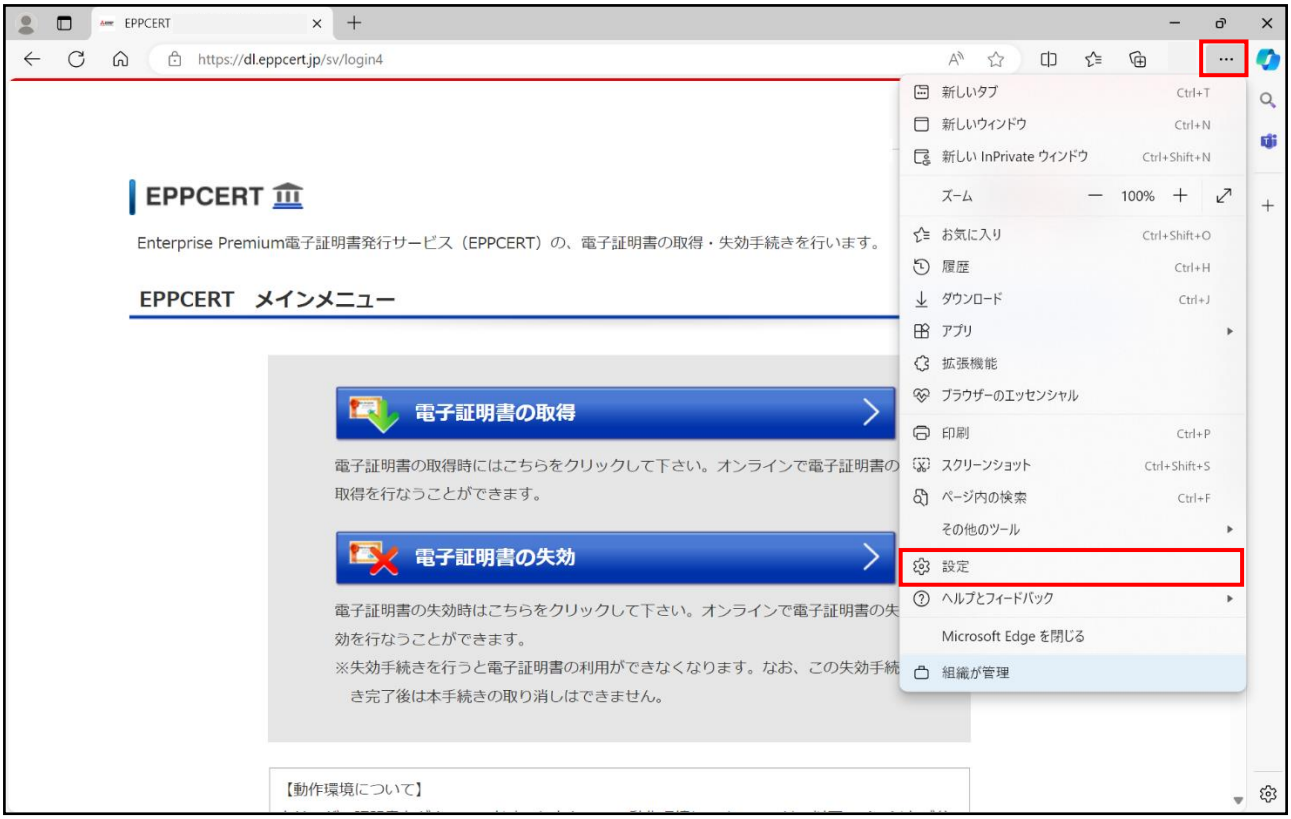
※ 既に下記の証明書がインポートされている場合、画面は表示されませんので本手順は不要です。

(8) 「OK」をクリックします。

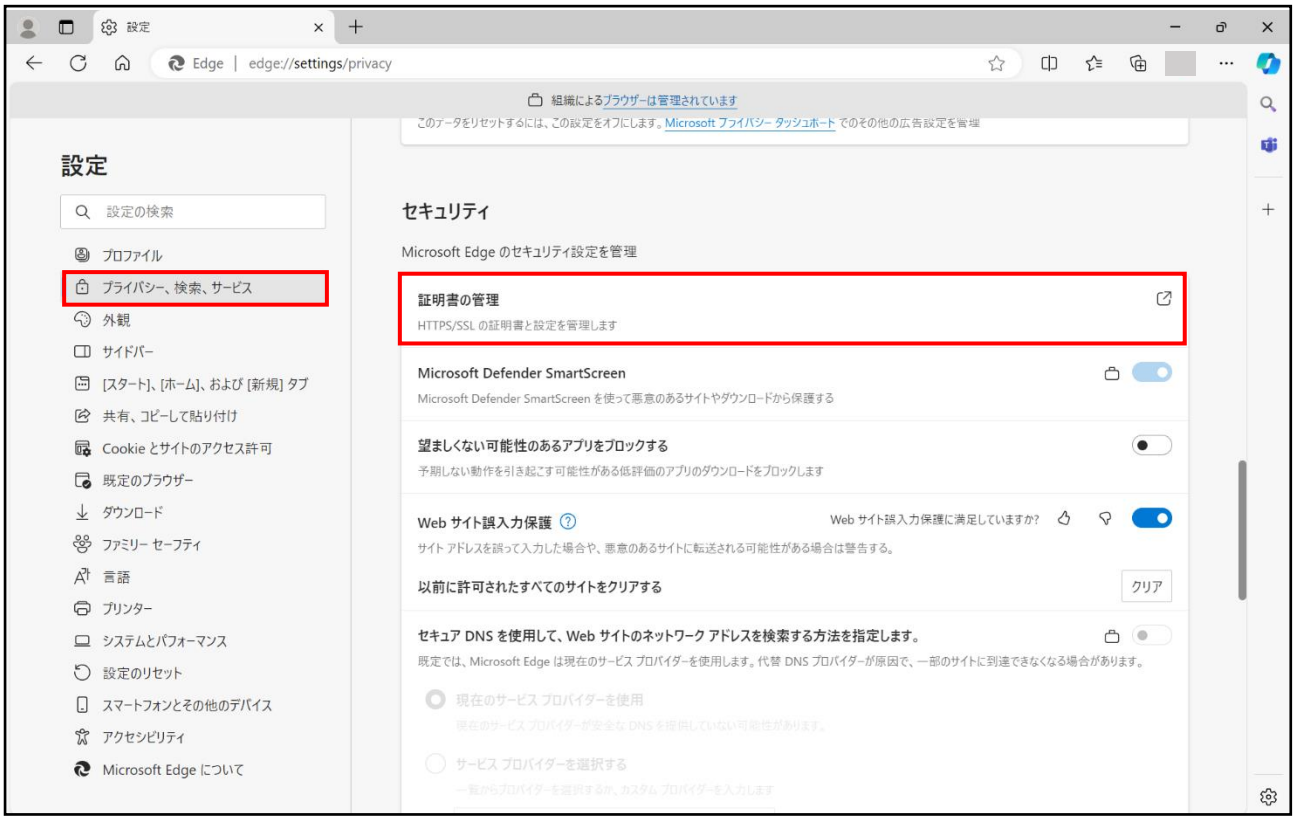


2.3. 電子証明書インポート完了確認

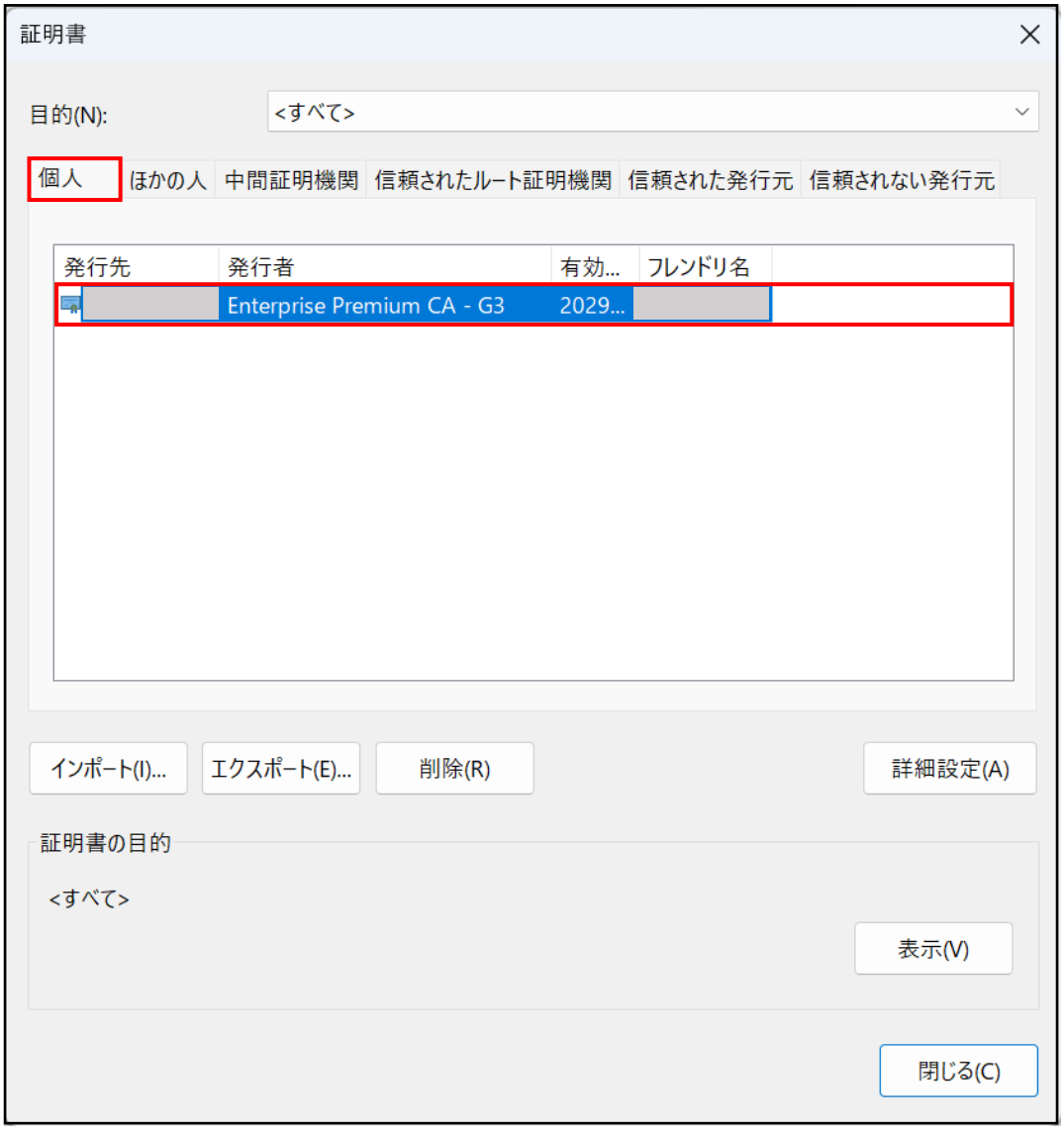
(1) Microsoft Edge を開き、画面右上の「…」 > 「設定」をクリックします。



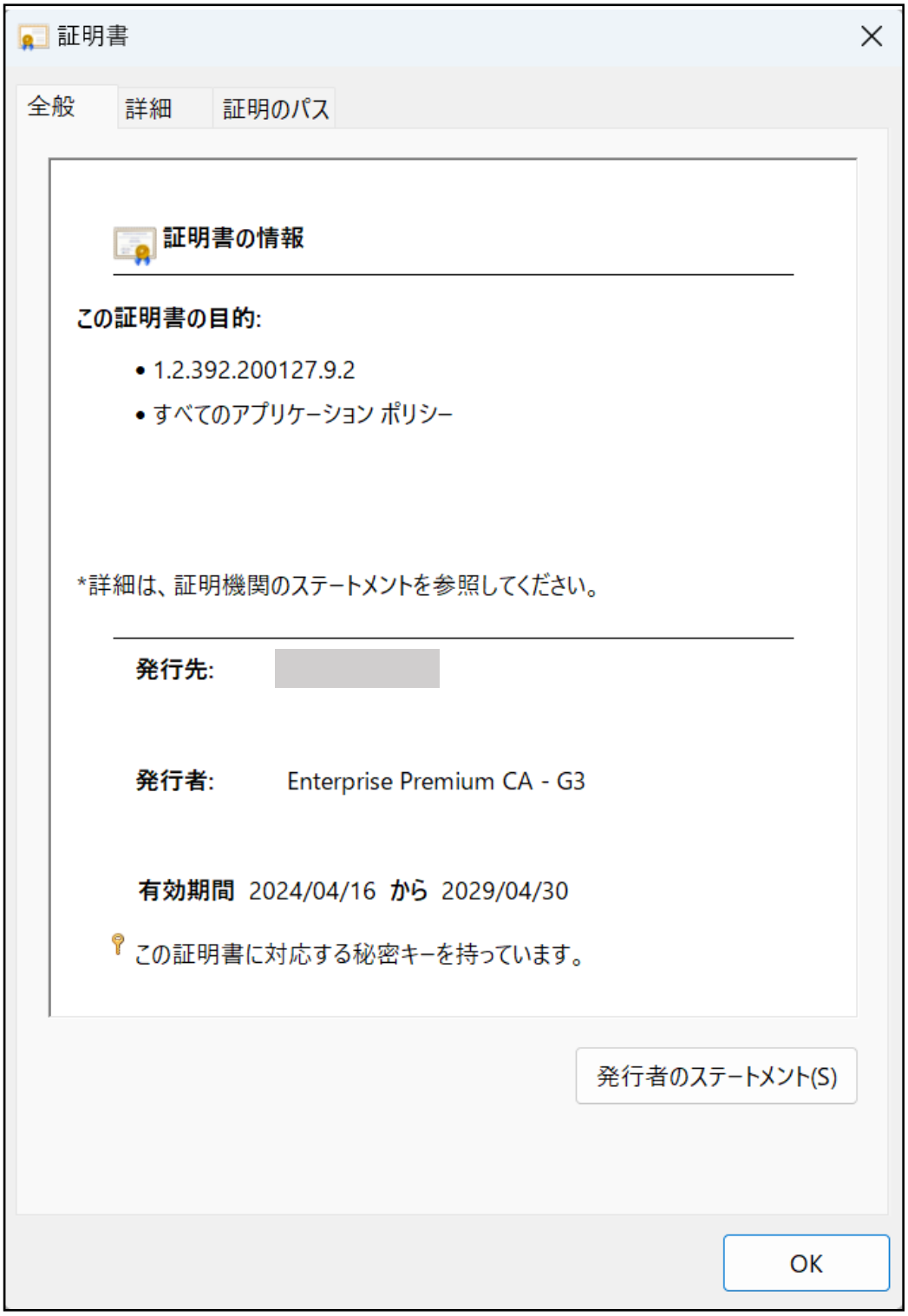
(2) 「設定」画面が表示されるので、左のメニューから「プライバシー、検索、サービス」を選び、右画面のセキュリティ項目にある「証明書の管理」をクリックします。



(3) 「証明書ストア」の「個人」タブが開きます。「発行者」が「Enterprise Premium CA – G3」であり、「発行先」に指定したコモンネームの証明書があることを確認します。

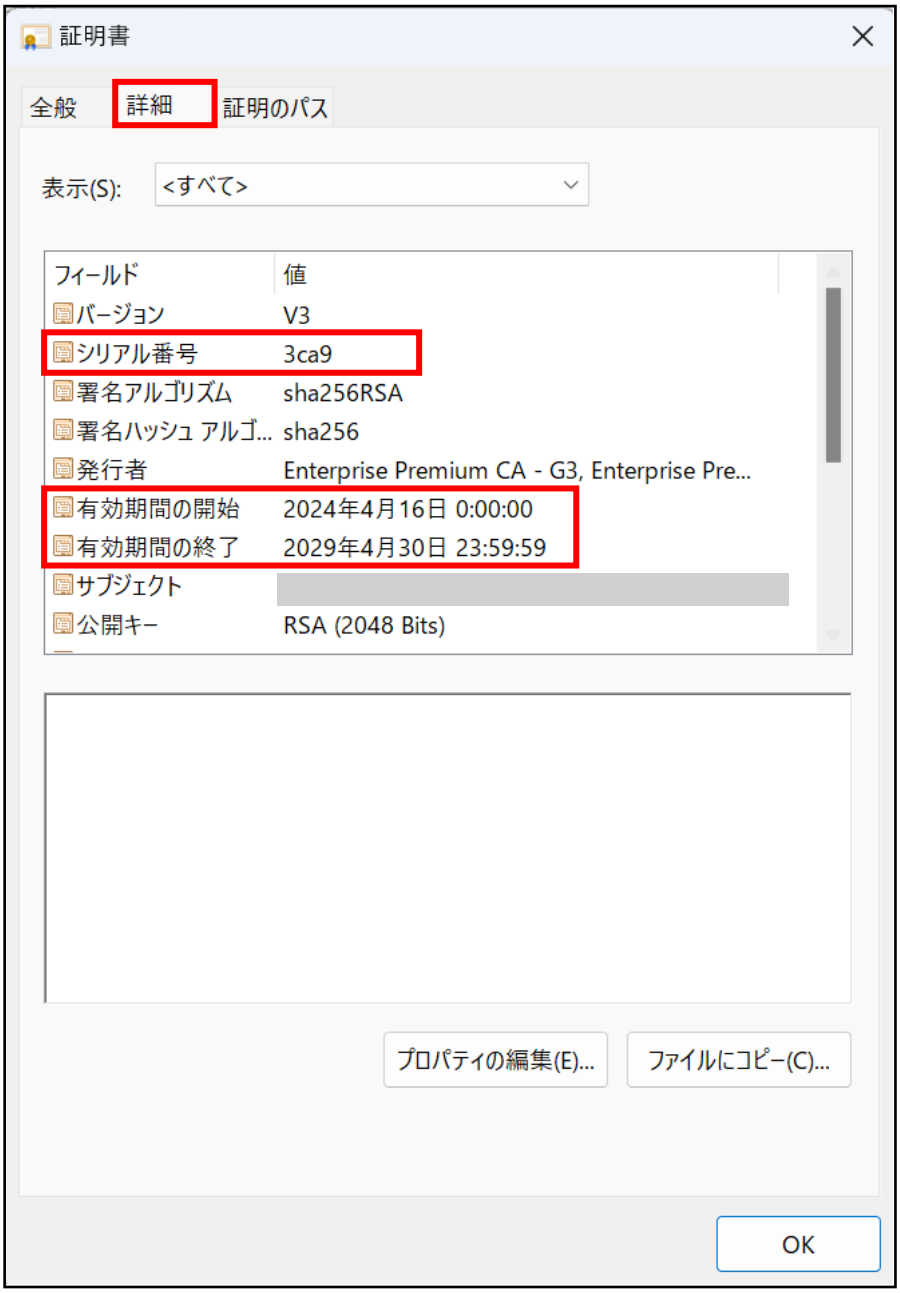


(4) 証明書をダブルクリックします。証明書の情報が表示されます。

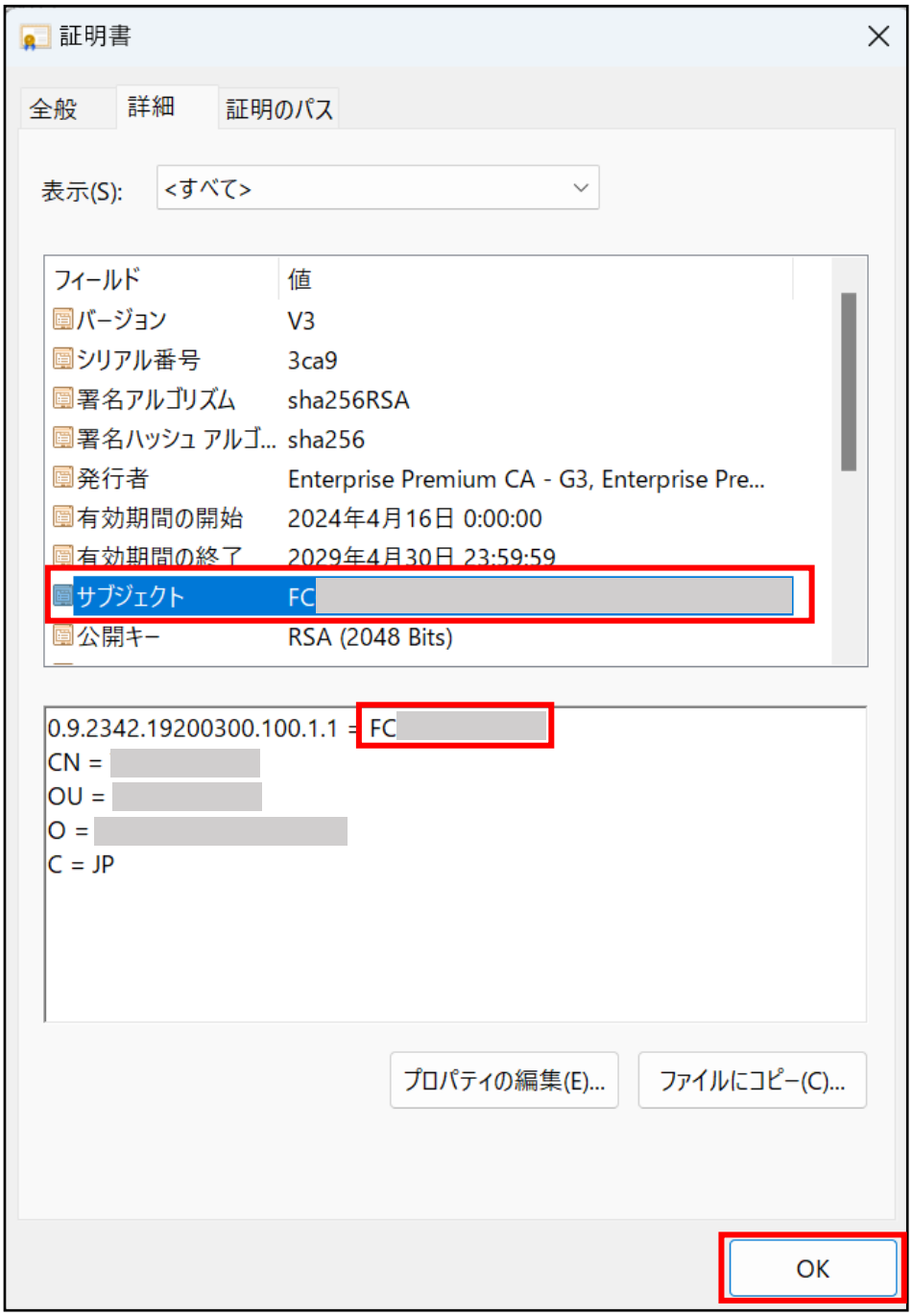


(5) 証明書のシリアル番号等の詳しい情報は「詳細」タブに表示されます。

- 証明書のシリアル番号は「シリアル番号」の右に 16 進数で表示されます。
- 証明書の有効期間については「有効期間の開始」、「有効期間の終了」として表示されます。



・ 証明書 ID の確認方法は画面を下にスクロールし、サブジェクトをクリックします。下の枠を確認頂き EC または FC から始まる英数字が証明書 ID となります。



(6) 右下の「OK」ボタンをクリックし、画面を閉じます。

(7) 「信頼されたルート証明機関」タブに「発行先」が「Enterprise Premium CA – G3」の証明書があることを確認します。

(8) 「証明書ストア」、「Microsoft Edge」を閉じます。

以上で電子証明書のインポートは完了です。

3. トラブルシューティング

エラー画面が表示された場合の原因と解決方法について記載します。

【証明書配付システムにログイン時のエラー】

<table>
<tr><td colspan="2">エラーメッセージ</td></tr>
<tr><td colspan="2">・ログインに失敗しました。</td></tr>
<tr><td rowspan="2"> 
</td><td>原因 1
証明書 ID、パスワードが誤っている。</td></tr>
<tr><td>解決方法 1
メールに記載されている「証明書 ID」及び「パスワード」を再度確認し、情報を入力してください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">原因 2
JavaScript が無効になっている。</td></tr>
<tr><td colspan="2">解決方法 2
(1) Microsoft Edge の「設定」から「Cookie とサイトのアクセス許可」をクリックしてください。
(2) 「すべてのアクセス許可」の「JavaScript」を選択して、「許可」します。
(3) Microsoft Edge を再起動後に再度証明書配付システムにアクセスし、「証明書 ID」及び「パスワード」を入力してください。
 
</td></tr>
</table>

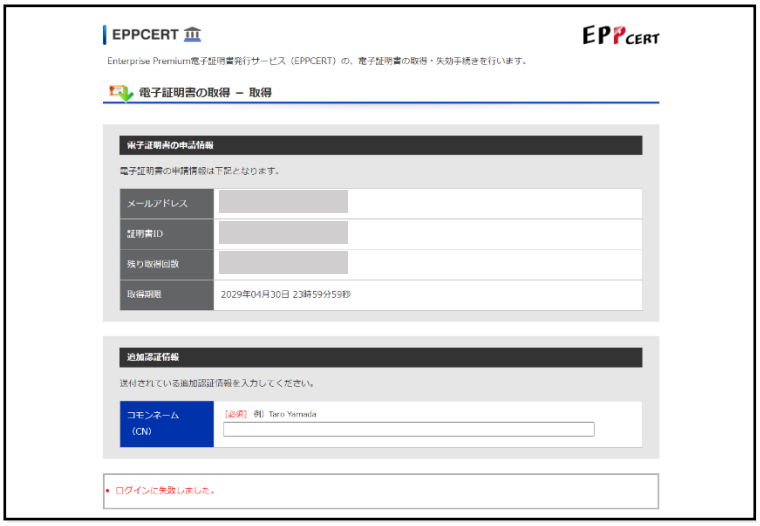
【期限切れの証明書を取得する際のエラー】

<table>
<tr><td colspan="2">エラーメッセージ</td></tr>
<tr><td colspan="2">・ダウンロード期限(YYYY 年 MM 月 DD 日)が過ぎています。</td></tr>
<tr><td rowspan="3"> 
</td><td>原因 1</td></tr>
<tr><td>電子証明書の有効期限が過ぎている。</td></tr>
<tr><td>解決方法 1</td></tr>
<tr><td colspan="2">再度電子証明書の発行が必要です。ID 通知メール下部の問い合わせ先にご連絡ください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">原因 2</td></tr>
<tr><td colspan="2">前回ダウンロード実施日から再ダウンロード期間が経過した。</td></tr>
<tr><td colspan="2">解決方法 2</td></tr>
<tr><td colspan="2">お客様企業のシステム管理者の方にお問合せください。</td></tr>
</table>

【パスワードがロックされている場合のエラー】

<table>
<tr><td colspan="2">エラーメッセージ</td></tr>
<tr><td colspan="2">・ログイン ID がロックされています。システム管理者に連絡してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="3"> 
</td><td>原因 1</td></tr>
<tr><td>パスワードを連続で規定の回数まで間違える。</td></tr>
<tr><td>解決方法 1</td></tr>
<tr><td colspan="2">ID 通知メール下部の問い合わせ先にご連絡ください。</td></tr>
</table>

【追加認証情報でログインに失敗した場合のエラー】

<table>
<tr><td colspan="2">エラーメッセージ</td></tr>
<tr><td colspan="2">・ログインに失敗しました。</td></tr>
<tr><td rowspan="2"> 
</td><td>原因 1
入力情報が証明書の情報と一致していない。</td></tr>
<tr><td>解決方法 1
証明書発行時に記載して頂いたコモンネーム(CN)を確認してください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">原因 2</td></tr>
<tr><td colspan="2">必要な追加認証情報がコモンネーム(CN)ではなく、入力情報が証明書の情報と一致していない。</td></tr>
<tr><td colspan="2">解決方法 2</td></tr>
<tr><td colspan="2">お客様企業のシステム管理者の方等にお問合せください。</td></tr>
</table>

4. SSL クライアント認証サイトの利用方法（参考）

(1) 証明書を利用するホームページへアクセスします。

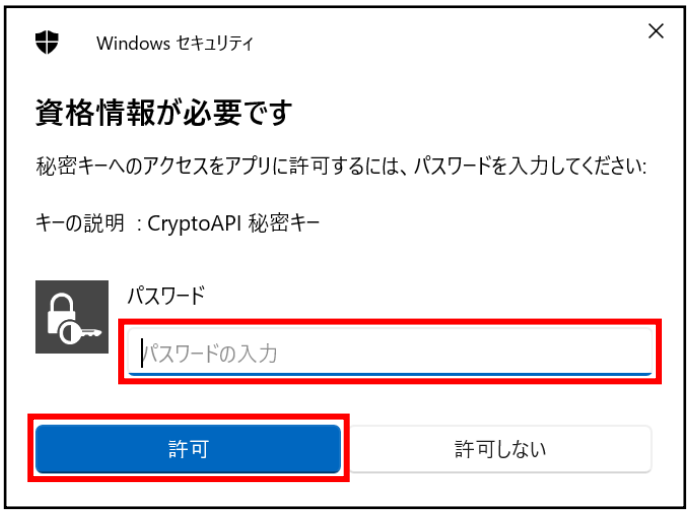
(2) 証明書選択画面が表示されます。インポートした証明書を選択し、「OK」をクリックします。

※ ブラウザの設定により証明書選択画面が表示されない場合があります。

「インターネットオプション」 - 「セキュリティ」タブの「インターネット」ゾーン - 「レベルのカスタマイズ」設定の「既存のクライアント証明書が1つしか存在しない場合の証明書の選択」が「有効にする」の場合は、証明書選択画面は表示されません。

※ 手順 2.1(4)で「秘密キーの保護を強力にする」へチェックした場合、キーを使用するためのアクセス許可の要求画面が表示されます。

「アクセス許可の付与」を選択し、「キー保護パスワード」へ手順 2.1(4)で設定したパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

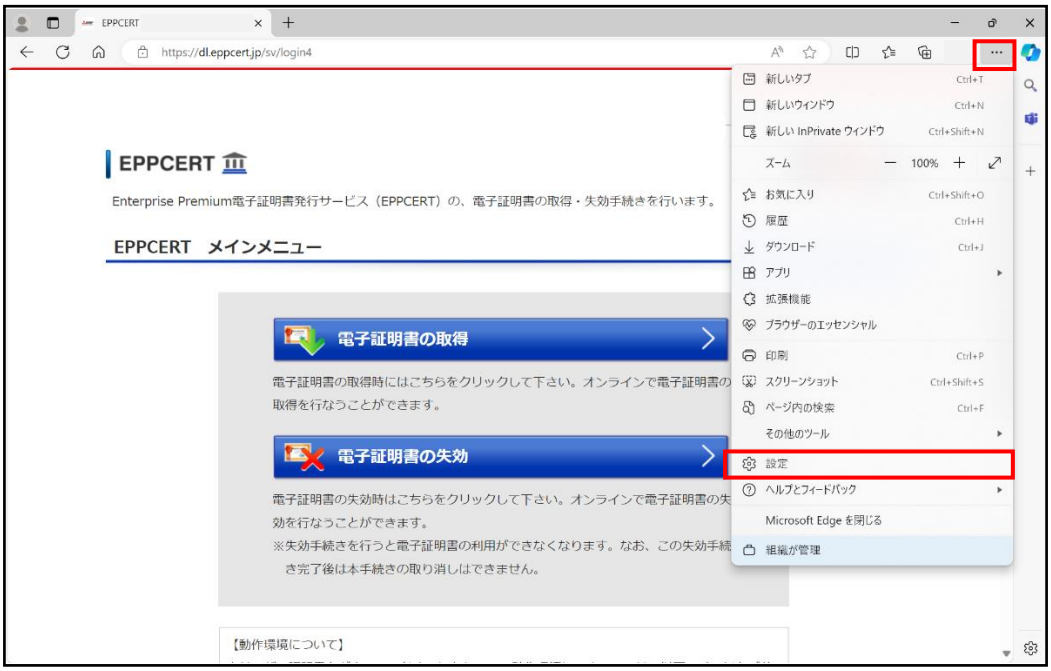


(3) SSL クライアント認証に成功した場合、接続先のホームページが表示されます。

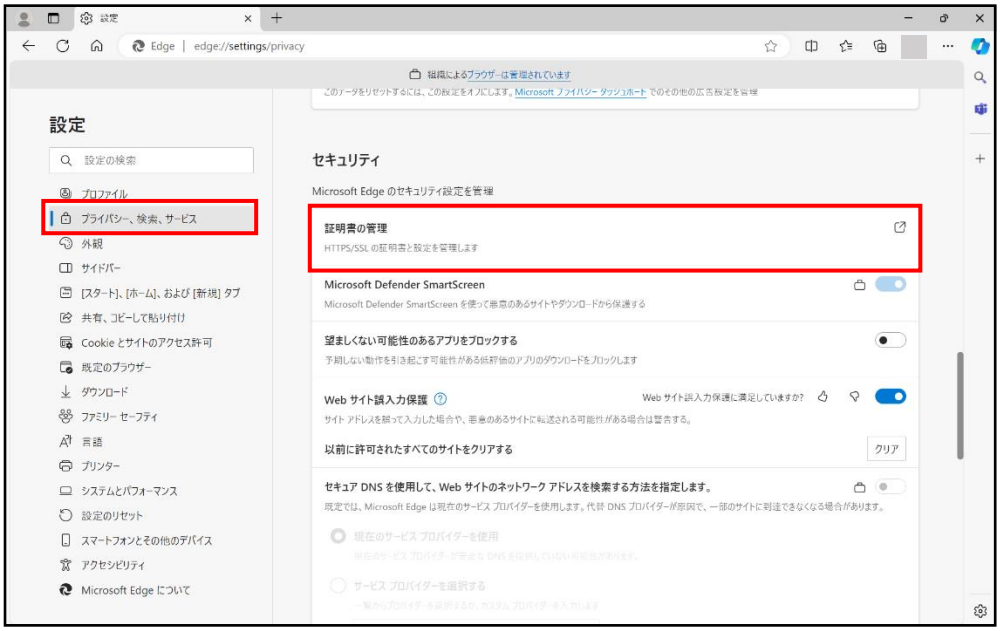
5. 電子証明書の削除手順（参考）

※ 本手順を実施すると電子証明書が利用できなくなります。再度、電子証明書をインポートする場合は、電子証明書のバックアップが存在していることをご確認の上、実施ください。

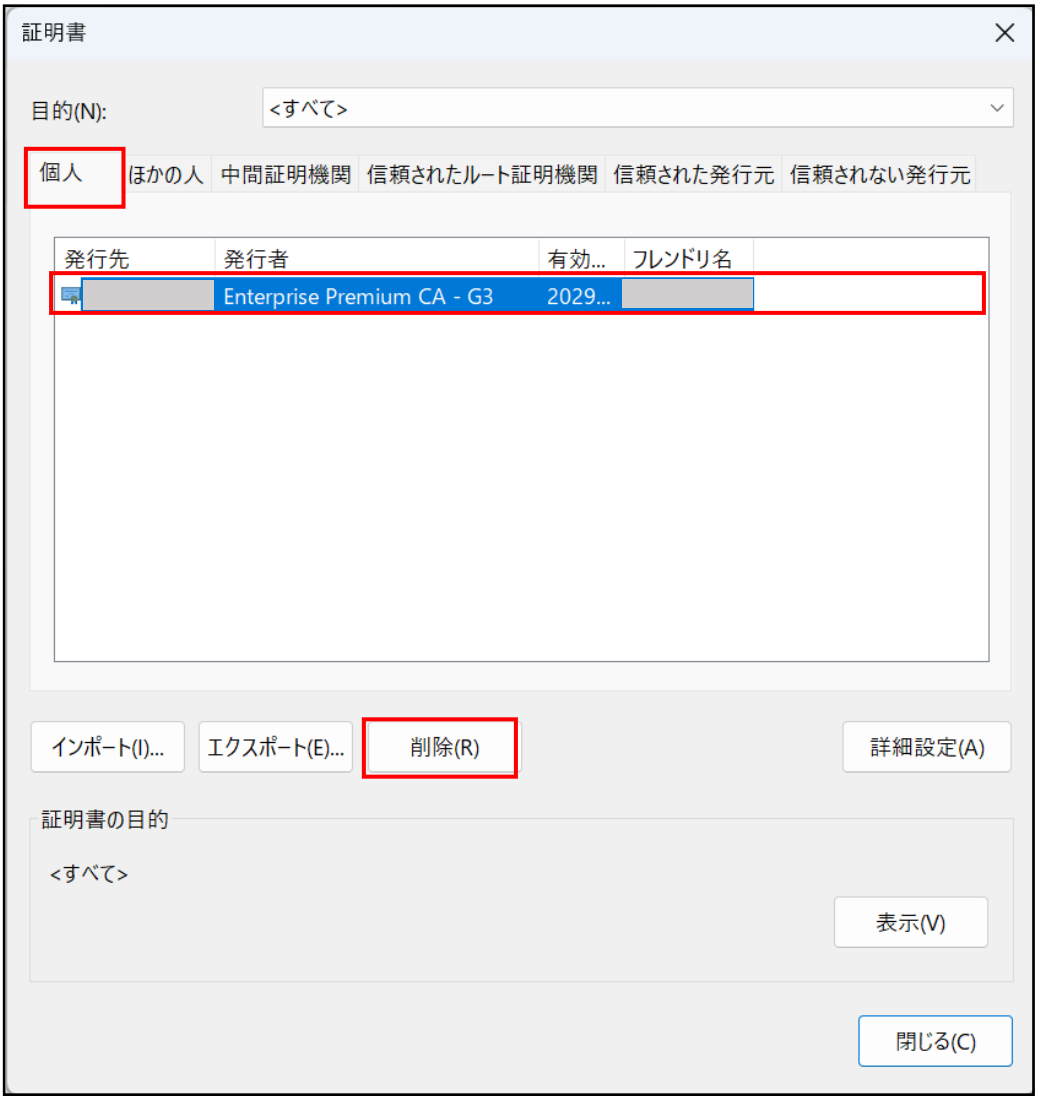
(1) Microsoft Edge を開き、画面右上の「…」>「設定」をクリックします。



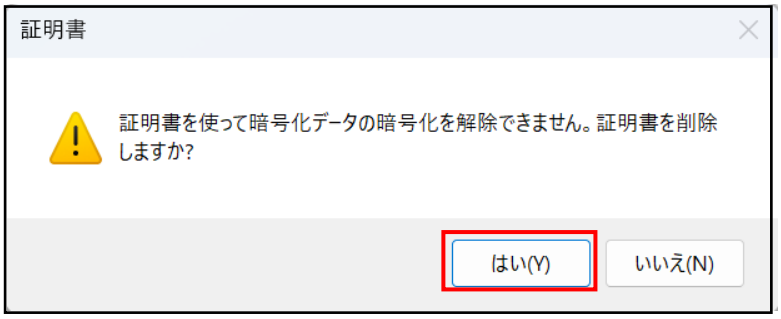
(2) 「設定」画面が表示されるので、左側メニューから「プライバシー、検索、サービス」を選び、右画面から「証明書の管理」をクリックします。



(3) 「証明書ストア」の「個人」タブが開きますので削除する証明書を選択し、「削除(R)」をクリックします。



(4) 「はい(Y)」をクリックします。



(5) 上記(3)の画面で削除されていることをご確認ください。